

県立病院 改革プラン

いよいよ来年4月には、紫波・花泉の2病院が診療所に 私(利用者、住民)の評価は



取 組 項 目	医療局 評 価	経営委員会 評 価	私の 評 価
一体的な運営の仕組み * 事務用品は、地元の業者でなく広域基幹病院で契約した業者に注文 * 職場検診などの予約は、広域基幹病院を経由して実施 (一部は、医師会に回される)	A	B	
病床規模の適正化 * 5病院で288床を休止 * 圏域でベッド利用率が向上? (大船渡病院では、前年比3.6%減)	A	A	
医師の絶対数の確保 * 昨年度は採用71人、退職96人 * 計画では、40人の増 * 一方で、医師以外の職員の削減は予定どおり138人減	C	C	
医師の地域偏在の緩和 * 小児科、産婦人科の医師のいない地域は拡大しています * 受診の都度、毎回医師が代わる病院も	C	C	
医療の質の確保 * 軽米病院の1人夜勤は6ヶ月を超えました * 入院日数の短縮化が、ますます強められています	C	C	

A：順調、B：概ね順調、C：やや遅れている、D：遅れている

○：賛成、×：反対、△：よく判らない

「内部留保金が枯渇し、病院運営に重大な支障が発生する」、として岩手県医療局が大がかりなリストラ策＝県立病院改革プランを策定して、3年目を迎えています。

私たち労働組合が問題点を広く県民の皆さんにお知らせし、県立病院のある地域の住民のみなさんが「こんな地域切り捨ての方針はだめだ」「診療所にすることには反対だ」と声をあげました。たくさんの請願署名等が知事や医療局長、県議会にも届けられ、計画の一部は変更になりましたが、「住民の理解を得ながら」と言いながらも、実行に移されつつあります。

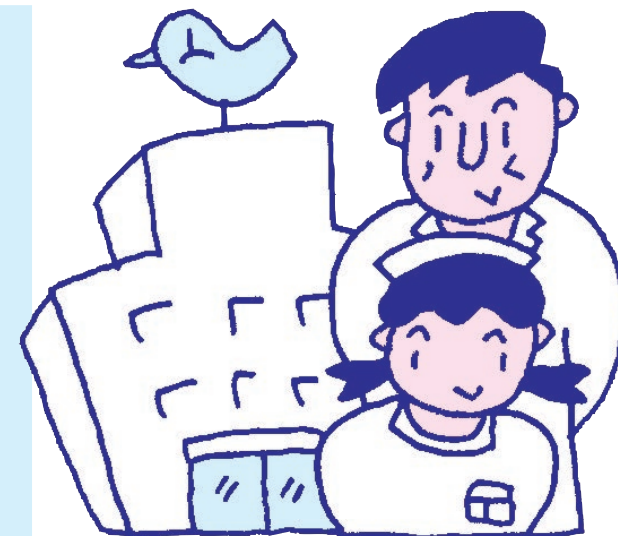
すでに計画が実行されて2年目。みなさんが利用する県立病院は、どう変わったでしょうか。医療局や県立病院経営委員会では左の表のような評価です。周りの方と話し合い、県民のみなさんが評価してみてください。

黙っていて大丈夫ですか

病院で使用する消耗品や、保存の効く食材などは、*広域基幹病院での注文となりました。検査技師が1人だけ、という病院が2カ所になりました。職場検診などの申し込みが、広域基幹病院での受け付けになりました。さらに来年4月からは、紫波、花泉病院が、19床の診療所にされ、さらなる病床削減も予定されています。

まだ間に合います。「おかしいのでは」、「これでは安心して暮らせない」、「計画をきちんと説明してほしい」などの声を上げましょう。

※注 広域基幹病院とは中央・久慈・二戸・北上・胆沢・磐井・宮古・釜石・大船渡病院のこと



岩手県医療局労働組合 (県医労)

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11-1
 電話 019-623-8271 FAX 019-623-8273
 E-mail: mail@iwate-ken-irou.org
 http://www.iwate-ken-irou.org/